

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教育職 公募
「募集要項」

1.	役職	准教授
2.	人数	1 名
3.	配属予定部署	宇宙科学研究所 太陽系科学研究系
4.	就業場所	JAXA 相模原キャンパス（神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1） ＜ 変更の範囲:人事異動、組織改編等により業務の実施場所が変わる場合に機構が定める場所、機構規則に基づきテレワークを行う場合はその場所 ＞
5.	採用予定日	2027 年 5 月 1 日以降なるべく早い時期
6.	契約期間	期間の定めなし
7.	試用期間	採用された日から 6 月間
8.	職務内容	太陽系科学にかかわる研究・開発および大学院教育
9.	職務内容（詳細）及び求める人物像	JAXA 宇宙科学研究所・太陽系科学研究系では、「ダイナミックに変動する太陽圏システムの仕組みと影響を理解し、太陽系システムの過去から将来に渡る変遷を知ること」を目指す太陽圏システム科学と、「太陽系形成過程を物証に基づいて明らかにするとともに、太陽系における惑星材料物質の進化・移動過程を探る」ことを目指す惑星科学を、衛星・探査機データに基づく観測的研究、関連する理論的研究とそれら実現するための探査計画の企画と遂行、及び、新しい飛翔体搭載科学機器の開発を大学や所外の研究機関と連携しながら実施することで推進しています。 この中で、観測装置を衛星や探査機に搭載して、調べたい場所で観測を行う「その場」観測については将来に向けて鍵となる新しい飛翔体搭載科学機器の開発を継続的に進めています。特に、高エネルギー荷電粒子のその場計測は比較的長い歴史を持っていますが、太陽フレアに伴う地球磁気圏に飛来する高エネルギー粒子のモニターやそれらの探査機への影響の評価、人類の宇宙進出に伴う月面などでの活動における放射線環境の理解と電子機器に含まれる電子部品に対する耐放射線対策、木星系を代表とする高エネルギー荷電粒子の存在下での氷衛星科学探査など、宇宙科学研究所が進める太陽系科学探査における基本的な計測技術として高い重要性を持ち続けています。近年、世界の宇宙機関が協力して進めようとしている宇宙天気関連ミッションにおいても、高エネルギー粒子の計測は必要不可欠な観測対象の一つとして認識されており、世界的にも新しい検出デバ

	イスや計測法の開発が進められています。以上のような背景の下、今回募集する准教授には将来の外惑星探査を含む太陽系科学探査に向けて、衛星搭載用高エネルギー荷電粒子観測装置に関わる技術開発を主導することを期待すると共に、宇宙機の置かれる放射線環境に関する理学的な知見と耐放射線対策に関する知見を併せ持つ専門家として実践的な役割を果たすことを期待します。 また、当研究所の大学共同利用機関としての役割を理解し、大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導にも積極的に取り組んでいただける方を求めます。 今回公募する准教授の職務内容は以下の通りです。 - 科学衛星や探査機の搭載用高エネルギー荷電粒子観測装置に関わる技術開発を他大学の研究者や宇宙研工学と共に、メーカを含む機器開発グループを主導することにより実施すると共に、将来の太陽系科学探査ミッションの立案・実行に中心的な役割を果たすこと。 - 探査対象の放射線環境すなわち高エネルギー荷電粒子の分布やその変動の解明等の学術研究を通して得た宇宙機の置かれる放射線環境についての理学的な知見と耐放射線対策に関する知見を併せ持つ専門家として、耐放射線対策において実践的な役割を果たすこと。 - 大学院学生教育への協力を含む宇宙科学分野の人材育成を行うこと さらに当研究所の大学共同利用の役割を理解し大学等の研究者と協調して宇宙科学プロジェクトを中心とする学術研究を遂行するとともに、専門研究能力を生かして JAXA 内の研究開発やプロジェクトなどの各種活動に積極的に参加し、将来の宇宙開発・宇宙利用に資する人材育成に貢献できる意欲あふれる人材を求めます。また関連企業などと連携し産学共同研究も推進することのできる人材を前提とします。 このような業務に鑑み、今回募集する准教授は、少なくとも次の条件を満たすものとします。 - 地球を含む惑星探査における「その場」観測に関する学識と研究経験を有し、かつ、高エネルギー荷電粒子計測器または類似の装置開発の経験を有すること。
--	---

		- 自身の有する高い専門性を活かして学際的に活躍する意欲を有すること - 大学院学生の教育・指導を実施できる能力を有すること < 変更の範囲 : 機構が定める業務の範囲 >
10.	待遇	(1) 給与 能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。 (2) 勤務時間 ・勤務は、原則として、専門業務型裁量労働制を適用する。 ・勤務時間は、始業午前 9 時 30 分～終業午後 5 時 45 分を基本とする。休憩時間は、1 日の労働時間が 6 時間を超える場合は 45 分、8 時間を超える場合は 1 時間とする。なお、裁量労働制適用者は、上記に関わらず、1 日のみなし勤務時間を 7 時間 45 分とする。 ・業務の都合により所定労働時間外勤務を命じることがある。 (3) 休日 完全週休 2 日制（日曜日、土曜日）、祝祭日、年末年始（12/29～1/3）、その他機構が必要と認めた場合に定める日等 (4) 休暇 年次有給休暇、特別休暇（分べん、忌引、結婚、ワークライフバランス（WLB）等）、子の看護休暇、介護休業、育児休業等 (5) 定年 65 歳定年制 (6) 保有・借上宿舍の貸与 業務の必要性、個別の事情及び空席状況により独身用または世帯用を用意（ただし、同一の宿舍に継続して入居できる期間は 7 年を限度とする）、又は機構の規定により住居手当を支給。 (7) 社会保険 各種社会保険完備（健康保険、厚生年金保険等）
11.	研究費	毎年度の予算状況に応じて決定される。（FY2026 実績 教授 80 万円、准教授 80 万円、助教 40 万円）
12.	応募資格	博士号を有すること。
13.	提出書類	(1) 履歴書 (2) 研究歴およびその概要 (3) 論文リスト（DOI を記載のこと） (4) 外部資金獲得実績（外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること）

		(5) 今後の研究計画（プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む） (6) セクハラ・性暴力等を含む過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分等にかかる申告（様式任意、(1)への記載でも可。該当の有無及び該当有の場合はその内容） (7) 本人について意見を述べることができる方2名の氏名と所属、連絡先（電話番号、電子メールアドレス） (8) 主要論文の別刷り5編以内（査読付き学会誌に掲載されたものに限る）
14.	提出方法	【アップロード先】 https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1789710466 ・提出書類はすべてPDF形式で提出すること。 ・提出書類(2)～(6)は一つのPDFにまとめること。 ・郵送または持参での提出は、原則として受理できません。
15.	応募締切	2026年12月9日正午（日本時間） 必着 ※Web入力および全ての必要書類提出についての締切です。
16.	選考方法	選考は、宇宙科学運営協議会※にて行います。まず書類選考を実施し、書類選考を通過した方に面接をお願いする予定です。ただし、変更となる場合があります。 ※https://www.isas.jaxa.jp/about/organization/committee.html
17.	問い合わせ先	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 太陽系科学研究系研究主幹 齋藤義文 教授 Email: saito.yoshifumi[at]jaxa.jp ただし、「14. 提出方法」に関しては下記へお問い合わせください。 科学推進部人事担当 E-mail: ISAS-JINJI[at]ml.jaxa.jp ※メールアドレスの[at]は@に置き換えてください。
18.	募集者名称	宇宙航空研究開発機構（JAXA）
19.	その他	・提供された個人情報については、採用選考以外の目的には利用いたしません。選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、全ての個人情報について責任を持って破棄・消去いたします。 ・外為法に基づく安全保障輸出管理の適正な実施のため、特定類型に関する申告書の提出が必要です。 申告内容に応じ、適正な業務遂行のために必要な兼業範囲の調整等の対応をとることがあります。

		・その他、教育職採用ページ※に記載の事項もございますので、そこ からもよくご確認のうえ、ご応募ください。 ※https://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.html
--	--	--